

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104060	学力向上推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		17,139	19,636		2,497
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	1,331		1,331
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	17,139	18,305		1,166

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯
児童生徒の学力向上を図るためには、少人数指導によるきめ細かな指導の充実と、教師の授業力及び指導力の向上が必要であると考え、この事業を開始した。 家庭学習の時間が県及び全国に比べて少なく、学習の定着が課題となっている。

事業概要
学力向上支援員・はなまき授業サポーター・中学サポーター 学力調査等の結果を分析、学力向上の取組を支援する支援員、児童生徒の学力向上のためのサポーターの配置 学習定着教材、到達度学力検査、知能検査 教材「Gアップシート」の作成配布、到達度学力検査の実施、知能検査の実施 漢字能力検定料助成 小学5,6年生を対象に検定料を全額助成

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
1 学力向上支援員 2,248千円 学力調査等の結果を分析し、各校の学力向上の取組を支援する支援員1人を配置
2 はなまき授業サポーター 7,934千円 児童の学力を向上させるため、30人を超える学級を有する小学校に授業サポーターを配置 6校に8人配置
3 中学サポーター 3,012千円 生徒の学力を向上させるため、30人を超える学級を有する中学校に中学サポーターを配置 3校に3人配置
4 学習定着教材の活用 649千円 中学校数学の学力向上のため、モデル校における中学1,2年生の授業補充教材として「Gアップシート」を活用
5 到達度学力検査 2,149千円 児童生徒の学力を把握するため、全国的に用いられている到達度学力検査を実施
6 知能検査 981千円 個々に応じた学習指導の充実を図るため、到達度学力検査と関連する知能検査を実施
7 漢字能力検定料助成 2,663千円 読解力向上と家庭学習の習慣、動機付けを図るため、小学5,6年生を対象に受検手数料（年1回分）を全額助成

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104100	まなび交流学習事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		71	67		-4
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	71	67		-4

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

すべての児童に発達段階に応じた学びの場を提供することが市の使命であることから、この事業を開始する。

事業概要

まなび交流学習支援  
小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

- まなび交流学習支援 67千円
  - 小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援
  - 笹間第一小学校と笹間第二小学校 4回
  - 大迫小学校と内川目小学校と亀ヶ森小学校 4回

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104140	体力向上実践推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		123	128		5
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	123	128		5

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

体力は全国的な風潮と同様に、体を使うことに楽しさを見出せていない状況から、低下傾向が続いているが、各校における課題等が異なるため、統一的な取り組みでは十分な成果を上げることが難しいと判断し、各校の現状に即した取り組みを支援することとした。

事業概要

実践校の事業支援  
実践校を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

- 実践校の事業支援 128千円
  - 実践校を3校指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援
  - 実践校：若葉小学校、南城小学校、大迫小学校
  - 取組内容：講師を招いてのスポーツ教室、水泳指導や縄跳び、業間マラソン等

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104230	小学校外国語教育推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		20,779	29,662		8,883
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	300	12,000		11,700
	一般財源	20,479	17,662		-2,817

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

国際化に対応するため、各自治体においてその取り組みが盛んに行われるようになり、本市では、昭和63年度より財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により外国語指導助手を招致、活用することとなった。現在は直接雇用及び委託でJETプログラムは活用せず。

事業概要

小学生外国語教育推進  
各小学校に外国語指導助手（ALT）を派遣  
外国語教育支援員の配置  
市内小学校を巡回する支援員の配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

- 小学生外国語教育推進 27,215千円  
各小学校に外国語指導助手（ALT）6人を派遣  
3・4年生 各学級年間 35時間  
5・6年生 各学級年間 70時間
- 外国語教育支援員の配置 2,447千円  
外国語教育に不慣れな小学校教諭の支援のため、市内小学校を巡回する支援員を配置し、教員への助言・指導を行う。

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104280	中学校外国語教育推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		18,699	24,172		5,473
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	10,300		10,300
	一般財源	18,699	13,872		-4,827

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

国際化に対応するため、各自治体においてその取り組みが盛んに行われるようになり、本市では、昭和63年度より財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により外国語指導助手を招致、活用することとなった。

事業概要

中学生外国語教育推進  
各中学校に英語指導助手(A L T)を派遣  
英語検定助成  
各中学校で実施する英語検定の受験手数料を助成

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

- 中学生外国語教育推進 18,069千円  
各中学校に外国語指導助手(A L T)を4人派遣  
英語指導、スピーチ・コンテスト指導、英語教員の研修補助、学習教材の作成等
- 英語検定助成 6,103千円  
各中学校で実施する英語検定の受験手数料の全額(年1回分)を助成  
英語検定問題集を各中学校で購入

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104710	学校保健事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		63,569	63,609		40
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	3,102	3,030		-72
	一般財源	60,467	60,579		112

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

昭和33年制定の学校保健法（現：学校保健安全法）に基づき、児童生徒及び教職員の健康安全を保持増進するために、学校において保健管理を実施している。

事業概要

学校保健管理 63,409千円  
 児童生徒や教職員の健康保持のための学校医等の確保や各種健診の実施  
 花巻市学校保健会補助 200千円  
 学校保健の推進向上を図る事業を実施する花巻市学校保健会への補助金交付

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	佐々木 晋
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

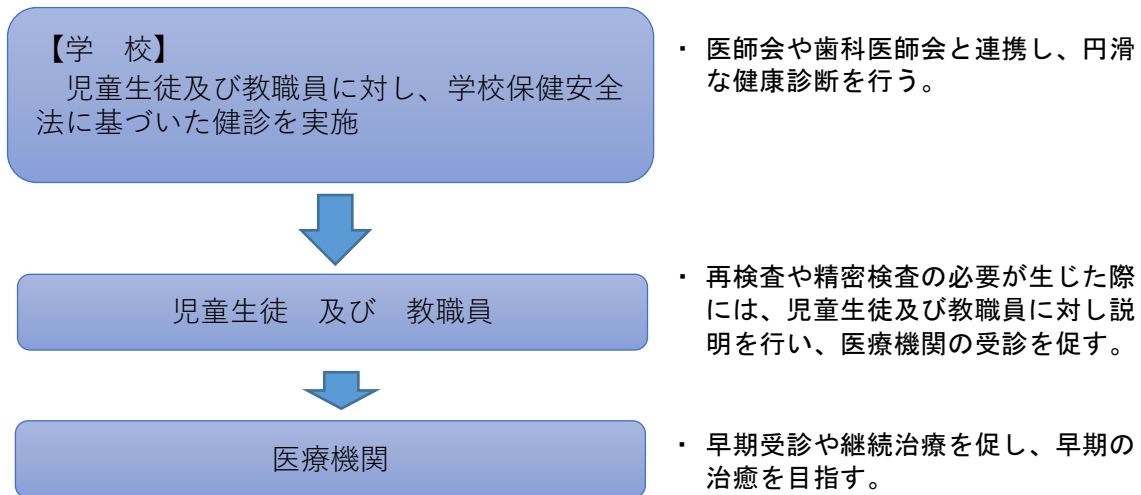
児童生徒の生活習慣病予防については、家庭での規則正しい食生活が予防のポイントであり、掛かりつけの病院の医師から本人と保護者への継続的指導が一番効果的なことから、学校長を通じて受診するよう促していくものとする。

事業手法の詳細1

1. 学校保健管理 63,409千円  
 児童生徒や教職員の健康保持のための学校医等の確保や各種健診の実施にかかる経費  
 1節 報酬 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師 22,647千円  
 8節 謝礼金 ・健診時看護師謝礼金 398千円・学校保健委員会出席謝礼金 1,008千円  
 9節 旅費 ・就学時健診に際する費用弁償 1千円  
 11節 需用費 ・消耗品費 1,141千円・印刷費 1,086千円（結核健診問診票、封筒、健康観察簿、健康カード、健康診断票等）・修繕料（学校保健機材等） 0千円・医薬材料費 4,816千円（学校保健室医薬品、学校プール用薬品）  
 12節 役務費 ・通信運搬費 195千円・手数料 637千円（学校プール水質検査、オーゾメータ点検等）  
 ・保険料 6,517千円（日本スポーツ振興センター、岩手県学校安全互助会）  
 13節 委託料 ・教職員健診業務委託 7,201千円・児童生徒健診業務委託 14,500千円  
 14節 賃借料 ・自動車借上料 349千円・機器借上料 2,407千円  
 18節 備品購入費 ・学校保健用備品購入費 506千円

2. 花巻市学校保健会補助 200千円  
 学校保健の推進向上を図る事業を実施する花巻市学校保健会への補助金交付  
 19節 補助金 ・花巻市学校保健会補助金 200千円

## 学校保健事業



平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104720	小中学校スポーツ振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,650	3,950		300
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,650	3,950		300

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

中学校総合体育大会等の各種大会を当該団体の主催事業として実施するに当たり、当該団体を構成する学校が所在する市町村において、その経費の一部を負担し、円滑な大会運営を支援している。

事業概要

小中学校各体育連盟の活動支援  
 小学校体育連盟事業補助、中学校体育連盟事業補助、県中総体開催事業補助、東北中体開催事業補助

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

- 小中学校各体育連盟の活動支援
  - ・小学校体育連盟事業補助 1,150千円
  - ・中学校体育連盟事業補助 2,400千円
  - ・県中総体開催事業補助 100千円
  - バレーボール・ソフトボール
  - ・東北中学校体育大会開催事業補助 300千円
  - バレーボール